



Worldsleep2011
Kyoto, JAPAN

Worldsleep2011
October 16 (Sun) - 20(Thu), 2011
Kyoto International Conference Center, Kyoto, Japan
Chair of LOC: Masako Okawa, MD, PhD
Shiga University of Medical Science

2011年10月6日

Worldsleep2011・日本睡眠学会第36回定期学術集会
2011年10月15日～20日 国立京都国際会館

来たる10月15日(土)～20日(木)、国立京都国際会館にて、『Worldsleep2011・日本睡眠学会第36回定期学術集会』を開催いたします。

今回の大会の目標の第一は睡眠の社会的問題の背景を科学的、医療的側面から検討し、明らかにすることです。第二は睡眠研究を進めるにあたって若い研究者を育成することで、本大会における優先課題です。第三は女性研究者の活躍の場を拓けることです。日常社会生活の中で男女の役割が変化しつつあり、睡眠学会を始めとする学術領域でもその特性を生かし、その役割を果たすことが望まれます。

また、日本睡眠学会が初めて国際会議を引き受けた1979年、東京において第3回 International Congress of Sleep Research が開催されました。それ以来30年の間に、多くの睡眠研究者を輩出し、睡眠研究、睡眠医療が大きく進歩いたしました。このように大きく発展した日本睡眠学会とアジア睡眠学会は、多大なる貢献をいただいた先達の先生方と共に、世界の皆様を心から京都にお招きしたいと思います。さらに、アジア睡眠学会を含めた World Sleep Federation(WSF)は新しい体制をとる途上にあります。前回ケアンズで開かれた Worldsleep07 で Ron Grunstein 博士が President に就任し、大きく変化していく21世紀において、人類がより良く生きていくために睡眠はますます重要性を増すことが予想され、睡眠研究も新たに発展していくべきであると提唱しました。しかし残念ながら、一般には睡眠の認知度はまだまだ十分ではないのが現状です。WSFは睡眠研究者の協力を得て、今こそ世界に睡眠の重要性を発信すべき時期であり、Worldsleep2011はそのスタートと言えます。

報道関係各位におかれましては、是非ご参加の上、ご取材いただきますようご案内申し上げます。また、ご来場の際には、会場入口に設置します「総合案内」にて、プレス証を発行いたしますので、お立ち寄りくださいますようお願い申し上げます。

Worldsleep2011
Chair of Local Organizing Committee
大川 匡子

日本睡眠学会第36回定期学術集会 会長
清水 徹男

Worldsleep2011 広報委員長
粥川 裕平

この件に関するお問い合わせは、

Worldsleep2011・日本睡眠学会第36回定期学術集会 広報事務局
運営事務局 株式会社コンベンションリンケージ

TEL : 075-231-6352 FAX : 075-231-6354 E-mail: ws2011@secretariat.ne.jp

Worldsleep2011 Secretariat:

c/o CONVENTION LINKAGE INC.

PIAS TOWER 11F, 3-19-3 Toyosaki, Kita-ku, Osaka 531-0072, Japan

Phone: +81-6-6377-2070 FAX: +81-6-6377-2075 E-mail: ws2011@secretariat.ne.jp

1. 学会名称

Worldsleep2011
日本睡眠学会第 36 回定期学術集会

2. 主催者

世界睡眠連合、アジア睡眠学会、日本睡眠学会、日本学術会議
後援：文部科学省、京都府、京都市

3. 開催期間

平成 23 年 10 月 15 日（土）～20 日（木）

4. 開催場所

国立京都国際会館
〒606-0001 京都府京都市左京区岩倉大鷲町 422 番地
TEL：075-705-1234（代表） FAX：075-705-1100

5. 参加予定者数

3,000 名
49 カ国・1 地域 ※招聘者、アワード招待などを含む

6. 会議の目的と開催意義

世界中の睡眠研究者が集まり、人間の睡眠習慣と睡眠の役割を明らかにし、睡眠覚醒リズムの調節機構の解明、睡眠障害の治療法についての研究発表および討議を行うことにより、睡眠学の進歩・発展に貢献することを目的としている。

7. 会議開催の経緯と概要

Worldsleep2011 は、世界睡眠連合 (World Sleep Federation) が 4 年ごとに開催する会議であり、1991 年の第 1 回から当会議で 6 回を数える国際会議である。世界睡眠連合の構成学会の 1 つであるアジア睡眠学会の会員数は約 3500 人であり、アメリカに次ぐ世界第 2 位の会員数を有するが、この国際会議は日本だけでなくアジアでの開催も経験を持たなかった。

そこでこの度、2007 年 9 月 2 日にオーストラリア(ケアンズ)で行われた World Sleep Federation (WSF) の Council Meeting にて、アジア睡眠学会の中核メンバーである日本睡眠学会を中心に 2011 年の Worldsleep2011 を日本で開催することが決定され、2008 年 5 月 24 日、組織委員会を設立して開催の準備を開始した。第 1 回の開催から 20 年目にあたる 2011 年に日本で Worldsleep2011 を開催することはきわめて意義深く、アジア、広くは世界の睡眠学会へ与えるインパクトは甚大である。

近年、生活様式の多様化、夜型化により睡眠時間が短縮し、それによりさまざまな弊害が生じている。たとえば、睡眠障害は、昼間の眠気に起因する交通事故のみならず、高血圧・糖尿病・心筋梗塞・うつ病などの誘引となる。昼間の眠気は、事故ばかりでなく毎日の就業や勉学の生産能率低下につながり、このような状態が長期化すると心身への影響もみられ、不安やうつ状態をまねく場合があり、睡眠の問題がもたらす社会経済的損失は計り知れない。また、睡眠不足だけでなく、今や国民の 4～5 人に 1 人が睡眠について何らかの悩みをもっていると言われている。睡眠時無呼吸症候群による新幹線の運転士の居眠りなどのニュースは記憶に新しい。現在、睡眠を単に「睡眠医学」の領域からのみでなく、社会経済問題からみた「睡眠社会学」、睡眠の役割やメカニズムを研究する「睡眠科学」の 3 つの切り口か

Worldsleep2011 Secretariat:

c/o CONVENTION LINKAGE INC.
PIAS TOWER 11F, 3-19-3 Toyosaki, Kita-ku, Osaka 531-0072, Japan
Phone: +81-6-6377-2070 FAX: +81-6-6377-2075 E-mail: ws2011@secretariat.ne.jp

ら取り扱っていかうという機運が高まっており、これら3つをまとめた「睡眠学」という新しい学問体系が確立しつつある。

この度の Worldsleep2011 では、” New Horizons of Sleep Research for Our Planet” をメインテーマに掲げ、睡眠障害、ナルコレプシー、不眠症、睡眠呼吸障害、睡眠のメカニズム、睡眠生理・薬理学、うつ病と睡眠、生活習慣病と睡眠、睡眠サイクル、神経薬理学など幅広いテーマを取り上げ、多くの海外の研究者の参加を得て貴重な学術情報の交換の場を提供することを目的としている。そして日本睡眠学会第36回定期学術集会を併催することにより、アジアならびに日本の睡眠学会が更なる飛躍を遂げることを期待する。

8. 会議の概要

(1) 会議の構成

総会、シンポジウム、プレナリーレクチャー、教育講演
一般講演（ポスター）600題、市民公開講座、機器・書籍展示、
ウェルカムレセプション、コングレスパーティー、スポンサードセミナー等

(2) 参加予定国

アイスランド共和国、アイルランド、アメリカ合衆国、アルゼンチン共和国、イスラエル国、イタリア共和国、インド、エジプト・アラブ共和国、エストニア共和国、オーストラリア連邦、オーストリア共和国、オランダ王国、ガーナ共和国、カナダ、キプロス共和国、キューバ共和国、グレートブリテンおよび北部アイルランド連合王国、クロアチア共和国、サウジアラビア王国、シンガポール共和国、スイス連邦、スウェーデン王国、スペイン、セネガル共和国、タイ王国、大韓民国、チェコ共和国、中華人民共和国、チュニジア共和国、チリ共和国、デンマーク王国、ドイツ連邦共和国、トルコ共和国、日本、ニュージーランド、ノルウェー王国、ハンガリー共和国、フィリピン共和国、フィンランド共和国、ブラジル連邦共和国、フランス共和国、ブルガリア共和国、ベルギー王国、ポーランド共和国、ポルトガル共和国、香港特別行政区、マレーシア、アフリカ共和国、メキシコ合衆国、ロシア連邦
以上、49カ国・1地域

(3) 使用言語

英語（一部日本語）

9. 本大会についての連絡先

Worldsleep2011 事務局：

滋賀医科大学 睡眠学講座
〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

日本睡眠学会第36回定期学術集会事務局：

秋田大学大学院医学研究科医学専攻病態制御医学系精神科学講座
〒010-8543 秋田県秋田市本道 1-1-1

Worldsleep2011/日本睡眠学会第36回定期学術集会運営事務局：

株式会社コンベンションリンケージ
〒531-0072 大阪市北区豊崎 3-19-3 PIAS TOWER 11F
TEL：06-6377-2070 FAX：06-6377-2075
E-mail:ws2011@secretariat.ne.jp

Worldsleep2011 Secretariat:

c/o CONVENTION LINKAGE INC.
PIAS TOWER 11F, 3-19-3 Toyosaki, Kita-ku, Osaka 531-0072, Japan
Phone: +81-6-6377-2070 FAX: +81-6-6377-2075 E-mail: ws2011@secretariat.ne.jp



Worldsleep2011
October 16 (Sun) - 20(Thu), 2011
Kyoto International Conference Center, Kyoto, Japan
Chair of LOC: Masako Okawa, MD, PhD
Shiga University of Medical Science

【添付資料】

1. ポケットプログラム
2. 大会セカンドプログラム
3. 市民公開講座リーフレット
4. **Art Science exhibition**
5. 睡眠コンサートリーフレット
6. **Worldsleep2011 の見どころ・聞きどころ (Medical Tribune 10月6日号)**

Worldsleep2011 Secretariat:

c/o CONVENTION LINKAGE INC.
PIAS TOWER 11F, 3-19-3 Toyosaki, Kita-ku, Osaka 531-0072, Japan
Phone: +81-6-6377-2070 FAX: +81-6-6377-2075 E-mail: ws2011@secretariat.ne.jp

Worldsleep2011・日本睡眠学会第36回定期学術集会 プログラム概要

(2011/10/03 現在)

種別	タイトル	講演者等 (敬称略)	日程
PS1	Future direction of global sleep medicine in collaboration with World Sleep Federation (WFS), the Japanese Society of Sleep Research (JSSR), and World Health Organization (WHO)	Ron Grunstein/土井由利子	16 日 PM
OL	Evolution of life history strategy in human and non-human primates	山極寿一	16 日 EV
PL2	Sleep disturbances, obesity and diabetes: interacting epidemics	Eve Van Cauter	17 日 AM
PS2	Cross-cultural differences in sleep and sleep disturbances in young children	Daniel Goh/ Jodi A.Mindell	
PL5	Unanswered questions about adolescent sleep	Mary A. Carskadon	17 日 PM
PS4	The burden of sleep-disordered breathing across the globe	Naresh M.Punjabi/ 赤柴恒人	
PS6	Sleep in neurodevelopmental disabilities	Judith A.Owens/ 谷池雅子	
PS7	Update on REM sleep behavior disorder (RBD)	Jacques Montplaisir/ 井上雄一	18 日 AM
PL8	Obstructive sleep apnea and atherosclerosis - exploring the links	Mary S. M. Ip	19 日 AM
PS10	Chronotherapy (sleep deprivation, light therapy, sleep-wake phase modulation) for depression	Anna Wirz-Justice/清水徹男	
PL10	Sleep and stroke	Claudio L.Bassetti	19 日 PM
PL11	Alarm clocks are more costly than we think	Till Roenneberg	
PS12	Genetic and physiological phenotyping of human clock system and its psycho-sociological impact on modern human society	三島和夫/Diane Boivin	
PL12	From the clinic to the laboratory and back again: new insights on insomnia	Daniel J.Buysee	20 日 AM
PL13	Brain circuitry for circadian regulation of sleep	Clifford B.Saper	
EL5	Violent parasomnias: forensic implications	Mark W.Mahowald ほか	
EL8	Molecular characteristics of human sleep variant	Yin-Hui Fu	20 日 PM
市民公開講座	アンドロイドは電気羊の夢を見るか?—宇宙での睡眠を考える	Michel Lopez-Alegria, 植松洋彦ほか	21 日 EV

OL : Opening Lecture, PL : Plenary Lecture, PS : Plenary Symposium, EL : Educational Lecture, ES : Educational Symposium, 公開講座 : 市民公開講座

表中, 講演は講演者名を, シンポジウムはオーガナイザー名を記載. AM : 午前, PM : 午後, EV : 午後 (18 時以降)

なお, 日程は 2011 年 9 月現在の予定です. 最新情報は必ず, 大会サイト (<http://www.worldsleep2011.jp/>) でご確認ください

Worldsleep2011 Secretariat:

c/o CONVENTION LINKAGE INC.

PIAS TOWER 11F, 3-19-3 Toyosaki, Kita-ku, Osaka 531-0072, Japan

Phone: +81-6-6377-2070 FAX: +81-6-6377-2075 E-mail: ws2011@secretariat.ne.jp

**Worldsleep2011・日本睡眠学会第36回定期学術集会
取材要領**

学会取材について

本大会の取材を希望される報道関係者は、当日、総合受付にて受付をお願い致します。
参加登録は無料です。なお、10月19日に行われる Congress Party でのファッションショーの
取材規定は、別規定となりますのでご注意ください。

1. プレス受付

- ・受付の「総合案内/Inquiry」デスクにお越し下さい。
- ・名刺を1枚ご提出いただいた上で、大会プレス証をお渡し致します。
- ・取材中は大会プレス証を着用をお願い致します。
- ・大会プレス証のない方の取材入場は固くお断り致します。

2. セッション

基本的に、ランチョンセミナー等のスポンサーセッション以外の全セッション、展示会場に入場可能です。

3. 写真撮影、ビデオ撮影、録音

- ・演者の撮影・収録内容等は必ず事前に座長・演者（取材対象者）に許可を取って下さい。許可のない撮影・収録は禁止致します。
 - ・機材の電源や音声ライン等を使用される場合は、会期前に事前に申し出て下さい。
- ※事前にお申し出が無い場合、ご希望に添えない事があります。また、会場によっては、使用料が発生する場合がありますので、予めご了承下さい。
- ・発表中のスクリーン映像は全て著作物です。許可のない撮影、また、転載・放送等の二次利用は出来ません。（ポスター発表でも同様となります）

4. 取材について

- ・写真撮影、ビデオ撮影、録音等は講演の邪魔にならないよう御配慮下さい。
- ・講演中のストロボ及びバッテリーライト等の使用はお控え下さい。

5. その他

- ・受付風景、会場入口看板、ポスター会場等、風景撮影に関しましては、個人をクローズアップしない場合のみ、風景写真として撮影を許可致します。
- ・当日プレスルームは設けていません。
- ・後日掲載誌を事務局へ贈呈下さい。

会期中お問い合わせ先
国立京都国際会館 Room 157 (大会本部)
TEL 075-705-2036 (直通)

運営事務局（事前お問合せ先）

Worldsleep2011・日本睡眠学会第36回定期学術集会 広報事務局
運営事務局 株式会社コンベンションリンケージ

TEL : 075-231-6352 FAX : 075-231-6354 E-mail: ws2011@secretariat.ne.jp